

朝日町地域公共交通活性化協議会

平成21年2月26日設置
平成21年2月26日連携計画策定



概要

当町は県都山形市まで比較的近いが、鉄道がないために複数の交通手段を使わないと山形市まで行けない不便さがある。また、町内には公共交通空白地域が3箇所あり、さらに高齢化率が34.3%と高いことから、山形市まで近さを実感できる交通体制の確保及び高齢者の足確保を図るため、山形直行バスの実証運行とデマンド型乗合タクシーの実証運行を実施する。

○朝日町・山形市間直行バスの実証運行

山形市までの交通アクセスを高めるため、次の実証運行を行う。

- ・通学生だけでなく通勤者も安心して利用できるよう朝日町と山形市間を結ぶ直行バスの往復運行及び通年運行を行う。
- ・朝日・山形間直行バスの弱みである一日一回運行を補強するため、直行バス定期券で他の一般乗合バス等が利用できるサービスの提供を行う。
- ・利用者などへのアンケート調査等を実施し、運行内容の見直しと本格運行について検討する。



○デマンド型タクシーの実証運行

高齢化率が一番高く、さらに公共交通空白地域やバス停留所まで大変遠い地域がある西部地区において、高齢者等が安全に安心して公共交通が利用できるシステムとして、デマンド型乗合タクシーの実証運行に向けたアンケート調査と準備を行う。

